

進路指導について

《進路指導のありかた》

中学卒業生のほとんどが高校に進学する現在の日本においては、「進路」イコール「進学」であり、「進路選択」イコール「高校受験」というように誤解されがちですが、中学卒業後、一人の人間としてどのように生きるかを一人一人にしっかりと考えさせることが本来的な「進路指導」です。

すなわち「進路指導」とは

生徒本人が、自らの進路（中学卒業後）を模索していく過程で、自ら納得して進路を選択できるよう、適切な助言・支援をすること。

生徒本人が、将来の自己実現に向けて、どのように生きるかを選択する過程で、適切な助言・支援をすること。

さらに具体的に内容は、下記のようになります。

本人が進路を決定して行くための過程で
相談にのること。

本人の進路選択にあたって、さまざまな
情報を収集し、示していくこと。

本人の目指す進路に向けて、必要と思わ
れる基礎学力の充実を図る手段を講じる
こと。

《本校における進路指導のあり方》

（１）進路指導の基本方針：

各学年で生徒の意識・発達に応じて学級担任が行う。

生徒一人一人への適切な個別指導と三者懇談を必要に応じて行う。

自分の進路を自分で切り拓く逞しさ（判断力と責任感）を身につけさせる。

* 職業観の育成

* 帰国受験or現地校進学

人的環境がせまいという海外滞在の生徒にとって、日々接する教員が、魅力ある人生観を語れるように努力する。

（２）進路指導計画

	第一学年	第二学年	第三学年
自分を知る	将来の夢	親や先輩と語る 自分を知る	適性や環境を知る
職業を知る 上級学校を知る	職業の種類を知る 上級学校の種類を知る	希望する職業を考 える 希望する上級学校 を考える	職業と資格を知る 目標の学校を決め て情報収集に努め る
学力を身に つける	学習の仕方を身に つける	学習の悩みを解決 する	基礎学力の充実に 向けて取り組む

(3) 進路情報の入手

海外に暮らすことで、特に中学部のお子さんを持つ保護者の方々には、進路に関する不安が多々あると思われます。その不安も情報不足に起因するところが多いのではないのでしょうか。中でも、受験先都道府県ごとに入試のシステムが異なり、また年々受験制度が変わってきていることに起因しているようです。国内での受験のように保護者同士で情報交換があまりできません。そこで、ここでは学校と家庭のそれぞれに分けて、進路に関する情報入手の方法を提示します。

* 日本の高校を受験する場合：

学校が主にすること

- ・過去の状況分析
- ・日本の関係地域中学校との連絡
- ・高校との連絡
- ・業者テストの注文
- ・各都道府県教育委員会との連絡

家庭でしていただくこと

- ・縁故・知人との連絡
- ・進学ガイド等書籍による調査
- ・業者テスト（地域別）等の注文
- ・学校訪問、体験入学
- ・各都道府県教育委員会への相談
- ・各種受験資料収集

* 現地校へ進学する場合：

学校ができること

- ・過去に進学実績のある学校紹介
- ・卒業生で現地校進学者から情報収集
- ・現地校との直接連絡
（卒業後に編入する場合の単位認定等）
- ・現地校の子どもをもつ知人との連絡

家庭でしていただくこと

(4) 3年次における進路指導

本校の中学生に限って進路を見ると、これまで100%の生徒が進学希望でした。そこで、進学する場合、進学先を選ぶ際に基本となる考え方を整理すると、次の4点になると考えます。

進学先は、最終的には本人がきめるべきものであること。
進学先は、将来を見通したものであるべきこと。
進学先を選ぶ際は、その校名・評判などで選ぶべきものではなく、本人の適性・能力などを考えて選ぶべきであること。
必要書類の作成にあたっては、海外の日本人学校という特殊事情が決して不利にならないようあらゆる努力をすること。

(5) 本校における進路状況

過去3年間の卒業生の進路先

卒業年	卒業生数	国立	公立	私立	現地校	その他
2006年3月	10	01	3	2	5	0
2007年3月	8	0	3	4	1	0
2008年3月	11	0	2	5	4	0

(6) 平成19年度卒業生進学先一覧

【公立高等学校】

兵庫県立国際高等学校
広島県立広高等学校

【私立高等学校】

国際基督教大学高等学校
相洋高等学校
中京大学附属中京高等学校
清風高等学校
金光学園高等学校

【現地ハイスクール】

William Fremd High School
Hoffman Estates High School
James.B.Conant High School